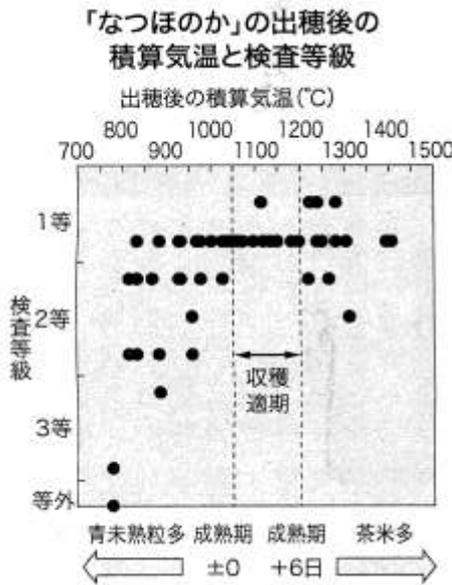




良質・良食味米生産のためには、品種特性に応じて適期に収穫することが必要です。これまでの試験から、普通期栽培水稻「なつほのか」の成熟期は出穂後の積算気温が1050度に達した時期であることが分かっています。そこ



### 水稻「なつほのか」収穫適期

## 成熟期から7日間が品質・食味とも良好

で、積算気温と検査等級の関係から収穫適期を明らかにしました。

「なつほのか」の検査等級は成熟期から成熟期の6日後(積算気温1200度)までの間に収穫すると高くなり、これより早く収穫すると青未熟粒が多く、遅く収穫すると茶米が多くなり、検査等級は低下します。また、食味は成熟期の7日後以降から低下することがあります。よって、品質と食味がともに良好な収穫適期は、成熟期から成熟期の6日後までの7日間です。

また、株の最長稈(かん)穂(1株のうち最も稈長が長い物の穂)から成熟期を判断する目安は、最長稈穂のもみのうち、緑色のもみがおおよそ2、3粒となった頃です。生育過剰となった場合や穂肥の施肥量を増やした場合、成熟期が遅くなることもあるので、もみの黄化状況から成熟期を確認して収穫するようお願いします。

(県農林技術開発センター 農産園芸研究部門作物研究室 室長 古賀潤弥)